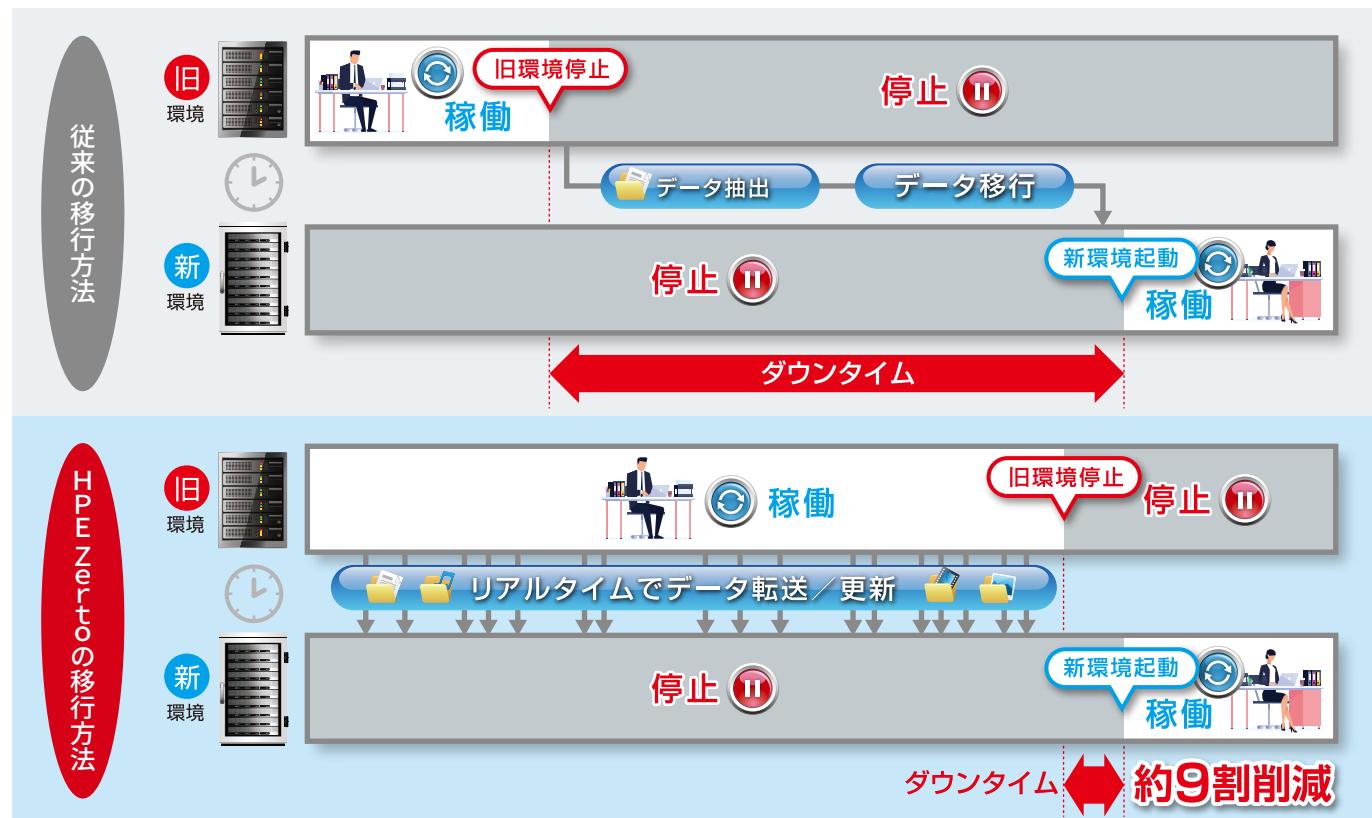


**Hewlett Packard  
Enterprise**

# HPE Zerto Software

# システム移行の ダウンタイムを9割削減!

5年おきのリプレース、もしくはクラウド導入時に行うシステム移行。  
この時に大きな課題となるのがダウンタイムです。従来のシステム移行では、既存環境を停止して移行するため  
データ量が多いと数日間システムを止めなければならないケースも。  
この課題を解決できるのが「HPE Zerto Software (HPE Zerto)」です。



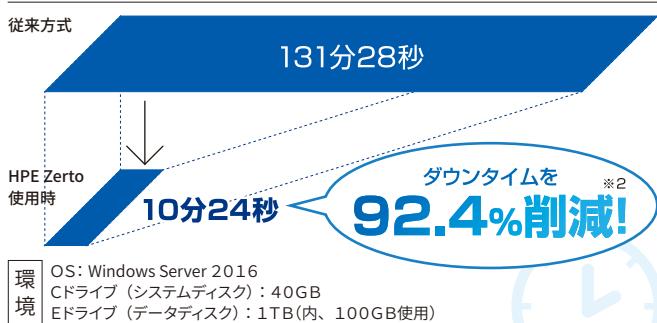
## なぜダウンタイムを9割も 削減できるのでしょうか?

HPE Zerto は、旧システムを稼働させたまま、新システムにデータを移行できます。そのためどんなにデータが多くても、旧システムから新システムに切り替える短時間のみのダウンタイムで移行が可能です。あるケースでは、従来方式で131分28秒かかっていたダウンタイムが、10分24秒にまで短縮。実際に92.4%もの削減効果となりました。

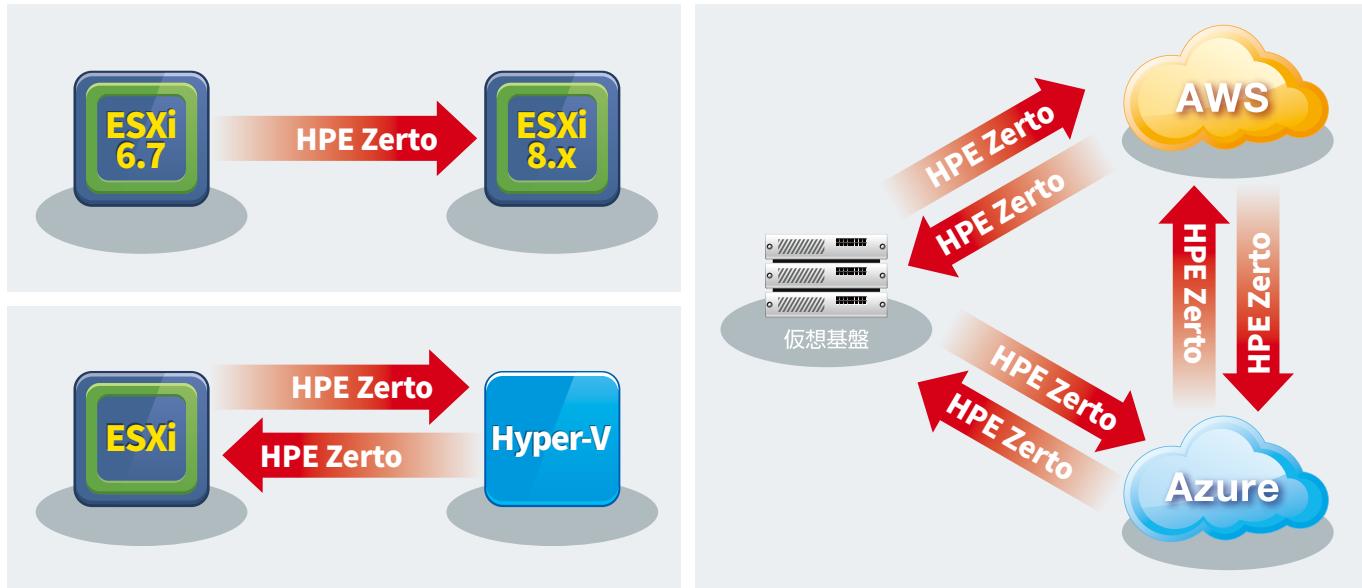
\*1 環境などにより変動します。必ずこの数値になることを保証するものではありません。

\*2 AWS インポート方式と Import for All Volumes 方式を比較したものです。実際の環境で計測した結果のため、環境によっては結果が異なることをご承知ください。

### ●AWSへの移行事例（ダウンタイム比較）



**HPE Zertoはハイパーバイザベースのレプリケーションソフトウェア。  
クラウドかオンプレミスかなどの環境を問わず、  
様々なパターンの移行ができます。**



移行ツールとしてはもちろん、BCP対策としてのディザスタリカバリのほか、  
ランサムウェアなどのウイルスやマルウェアなどに対するデータ保護にも利用可能です。



### RPO数秒、RTO数分

リアルタイムでデータの更新情報が複製されるため、  
RPO(目標復旧時点)は最短で数秒。RTO(目標復旧時間)  
も待機系システムへ切り替える数分間のみです。



### 世代データを 最大30日間保持

通常のレプリケーションと異なり、数秒単位の世代データを最大30日間保持出来るため、操作ミスやウイルスなどのデータ損失にも強いという特徴があります。



### エージェントレス

HPE Zertoによる仮想マシンの複製は、I/O監視用の仮想マシンを建てる仕組みで実現されています。そのため、既存システムにエージェントを入れずに保護が可能です。



### コストを抑えたクラウドへのDR (ディザスタリカバリ)

データの保存は安価なオブジェクトストレージを使用し、高額な仮想インスタンスの使用はフェイルオーバー時のみ。平時のコストを抑えたBCP対策が可能です。

**HPE Zertoの国内最初の代理店。  
知見の豊富なデジタルテクノロジーにお任せください。**



デジタルテクノロジー株式会社

<https://www.dtc.co.jp/>

[東京] 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイアビル  
MAIL : sales@dtc.co.jp

[大阪] 〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-1  
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 15F  
MAIL : osaka@dtc.co.jp